

# お茶の時間 心に響く言葉 7

第149号

2022.9.23

(1)

「アガサ・クリステイ」親指の「アガサ」文庫より  
40年以上前に買った文庫も、買い替えている  
文字が大きいので読みやすい。残り数冊。  
夫は古いのもスキヤンしてパソコンに保存。  
拡大できるし、画面が明るく、で読みやすい。  
私は、一ページずつめくる楽しみも含めて読  
書。夜の読書タイムは、読んでいながら寝るの  
のか、それもいい。

物ごとを知るには  
知ると言う方法が  
ひとつ  
もうひとつの方法は  
ある意味が  
ふも感知すること



心に響く言葉

第148号

2022.6.10

(1)

「リトの葉」は切り絵さんの言葉。  
「自分を信じて、自分が選んだ道をひたすら  
突きすすんで本当に良かった」と。  
自身が過ごした人生を振り返ると、突き  
当たるとはなかった。  
一応は、どうにか乗り越えて今の私がいる。  
「先は細く進むばかりだが、自分を信じて  
もう少しすすんでみる」とすすむ。

自分も  
信じて  
良かった



心に響く言葉

第151号

2023.3.1

(1)

右に同じく、団子も落語も大好き。コロナ禍  
で三年、寄席も遠くになり、（作り）  
遠足気分、新幹線に乗って、浅草が新宿の  
寄席に出かけた。スカッと、いい。  
庭の梅も咲いた。春だ、春だ。

吾輩は  
団子と  
落語を愛す  
漱石



心に響く言葉

第150号

2022.12.23

(1)

チャールズ・キップリングの言葉。  
受付から空を見るとき、二重の虹か。手の  
あては、スチーフ達に声を掛け、外に飛び出し  
た。慌ててスマホを取り戻し、撮ろう。  
虹の撮影をするスマホ、患者さんおぼろげ  
「今日一日、良い日に作るわね」  
明かすの音がなりました。

上を白く  
明るく虹を  
みつけよう

心に響く言葉

第152号

2023.2.10

(1)

コピーライターで知られる糸井重里さんの  
ほほ田エッセイより。  
ほほ田手帳を「ソフト」で購入してから「ほほ  
日通信 W E E K L Y」の配信を楽しんでいる。  
糸井さんのエッセイは、ほほのほのほとして暖かい  
気分になります。

かっか  
しなさん  
考え過ぎものは  
らくらく  
なな

心に響く言葉

2010年の100号から歩み始めた

「心に響く言葉」

編集していてこの言葉が

決まると、気持がピシッとなります。

まだまだこれから

どうぞご愛読をよろしくお願い

申し上げます

子田 則子

